

年に1、2度やって安心、お金の使い方チェック

新年度を迎えると、ウキウキする反面「なんとなく先々のお金のことが心配・・・」という気持ちになる方も多いかもしれません。とはいえ、お金の問題に正面から向き合うのはおっくうなものです。

そんな場合におすすめの方法として、ファイナンシャルプランナーでシニアライフプランナーでもある岡雅代さんは「1カ月だけ家計簿をつけて現状把握をしてみましょう」と提案します。

「1カ月だけでも家計簿をつけると、ご自分のお金の使い方の傾向が見えてくるはずですよ。『意外と外食が多い』『雑誌や本をけっこう買っている』など、自分が思っているよりもお金を使っている項目があったら、なぜ多くお金を使っているのか原因を探り、見直し策を考えてみましょう」(岡さん)



例えば食費がかさんでいる場合、外食が多い、コンビニエンスストアを利用しすぎている・・・などが原因かもしれません。そこで見直し策として、外食を減らしてできるだけお弁当を作る、コンビニエンスストアに立ち寄る回数を2日に1回に減らすといった方法を考えることができます。もちろん、これらが実践できて、少額でも今までより出費が抑えられれば申し分ないのですが、何より一番大切なのは、何にどう出費をしているのか気をつけるようになるという意識の変化なのだそうです。

「家計簿を見直す際に、特にチェックしていただきたいのは光熱費や通信費です。ただ単に使用量を減らすのではなく、ガスと電気をまとめる、電力会社を変えるといった方法で料金を抑えることも可能です。そうした方法を調べようという意識を持つことが大切です。同様に、携帯電話やインターネット使用料もケーブルテレビとまとめると安くなるプランがあるなど、さまざまな節約の方法がありますので、調べてみるといいでしょう」(岡さん)

とはいえ、ただ節約するだけでは、あまり楽しくはありません。節約が三日坊主にならないためにも、楽しい目標を設定してみたいかがでしょうか。例えば家族旅行の予定を決めて、その資金を貯めることを目標にすると、ワクワクした気分で節約に取り組めるはずです。

年に1度か2度、1カ月だけ家計簿を記入してお金の使い方をチェックし、見直し策を考えて楽しい目標に向けて節約を行う・・・こうした方法が習慣になると、将来に備えるための貯蓄もしやすくなるでしょう。

以上

※掲載内容の無断転載を禁じます

監修者
岡雅代さん
2級FP技能士、シニアライフプランナー

(株)しえん代表。コンサルティング会社から37歳で独立。FPセミナー講師や各イベントの活動を通じて、個人向けの資産形成や人生設計のアドバイスをを行う。年間20～30回のセミナーや講演などを通じ、資産形成、金融、投資、海外の分野でお金に関する情報を発信している。日本証券業協会認定証券外務員一種、一般社団法人相続診断協会認定相続相談士。